



税関発足150周年記念シンポジウム
大転換期にある世界貿易と税関 ～官民パートナーシップの将来像～

プラットフォームとしてのNACCSの役割

2022（令和4）年11月25日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

NACCSとは

Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System
＝ 輸出入・港湾関連情報処理システム ＝

輸出入貨物の通関関連手続や船舶／航空機の入出港関連手続をオンラインで処理するシステムです。

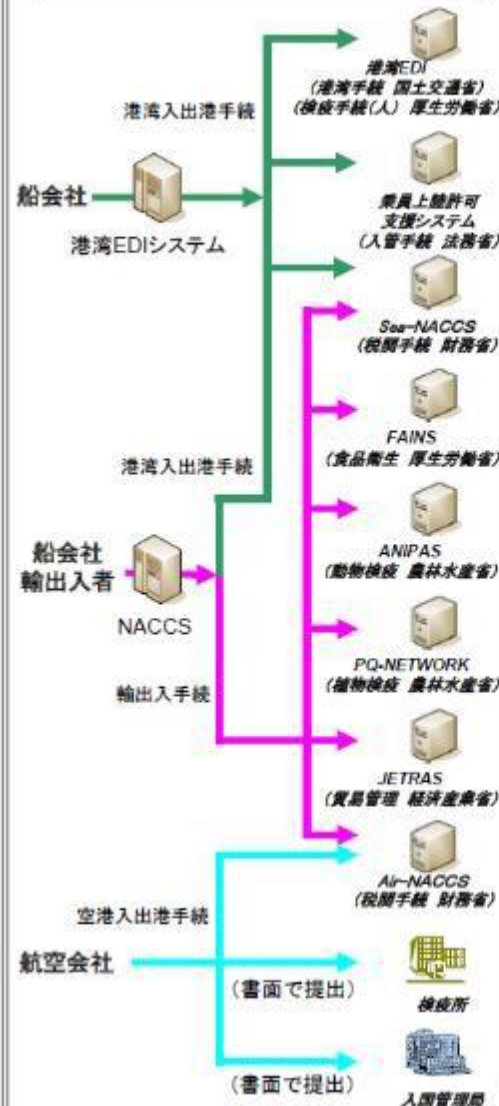
- ◆ 社 名 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
- ◆ 設立時期 2008年10月1日（独立行政法人通関情報処理センターを解散し設立）
※根拠法：電子情報処理組織による輸出入等関連業務の処理等に関する法律
- ◆ 沿 革 航空貨物通関情報処理センター：1977（昭和52）年～
独立行政法人通関情報処理センター：2003（平成15）年～
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社：2008（平成20）年～

（NACCSにより）

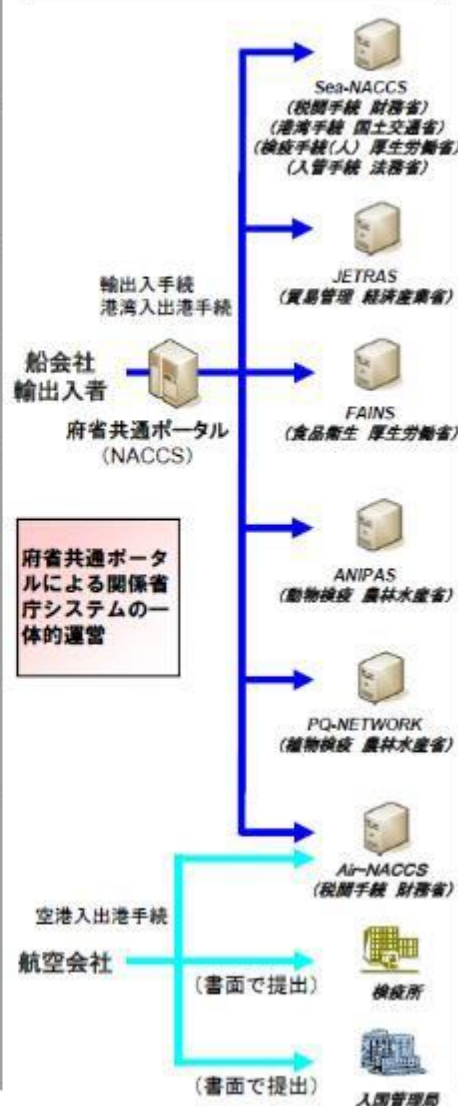
- 行政手続の迅速化・効率化やペーパーレス化等により官民双方のお客様の事務負担軽減等が図られます。

これまでのシングルウィンドウの歩み

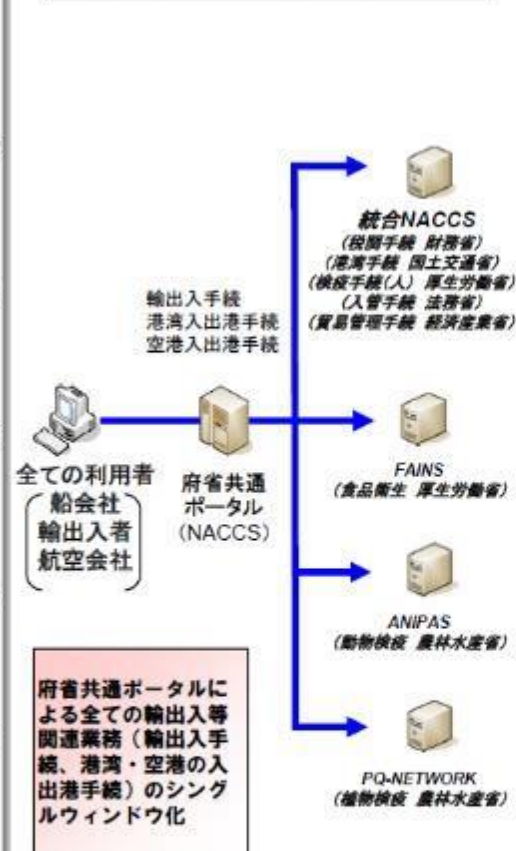
第1次シングルウィンドウ 平成15年7月～平成20年10月



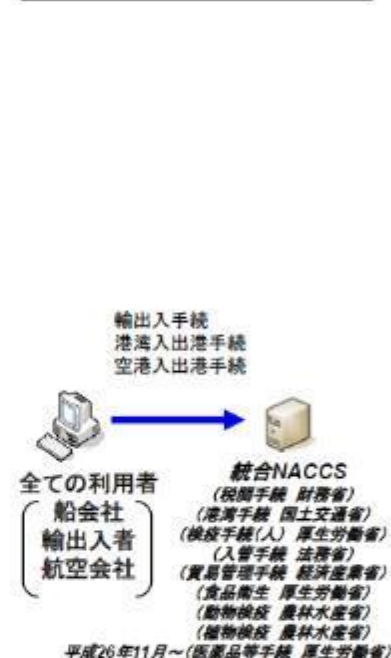
新たなシングルウィンドウ 平成20年10月～平成22年2月



シングルウィンドウの完結 平成22年2月～平成25年10月



統合NACCS 平成25年10月以降



「企業理念」

私たちは、お客様と共に歩み、「人・物・国」をつなぐNACCSを通じて、国際物流の発展に貢献します

NACCSは1978年の運用開始より、港湾・空港における利便性・信頼性・経済性の高い効率的な「総合物流情報プラットフォーム」として進化してきました。

引き続き、我が国における国際物流・国際貿易の動向を踏まえつつ、基幹システムとしてのNACCSの中長期のあるべき姿を視野に入れながら、関連する他の「デジタルプラットフォーム」との連携やペーパーレス化、更なるデジタル化の検討を進め、より利便性の高い「総合物流情報プラットフォーム」の構築に努めます。



中期経営計画(2021年度～2023年度)：「第2の創業・更なる飛躍のためのイノベーション」

新たな戦略・機能を創出し、NACCSの価値を高める

企業価値・ブランドの向上
持続的な成長の実現
お客様・株主様への還元

新規事業戦略

- 業務状況等分析業務
- 貿易関連書類電子保管業務

第2の創業 更なる飛躍のための イノベーション



総合物流情報プラットフォーム

コア事業戦略

- システムの安定運用とお客様のサービス向上
- 総合物流情報プラットフォームの機能強化(デジタルプラットフォームとの連携等)
- 次期(第7次)NACCSの開発
- 最新技術の実用化に関する具体的な検討

経営基盤の強化

※次期(第7次)NACCS開発スケジュール

○詳細仕様で検討をする代表的な機能

- 【第7次 NACCS で想定される外部システムとの連携図】



7次NACCS動画

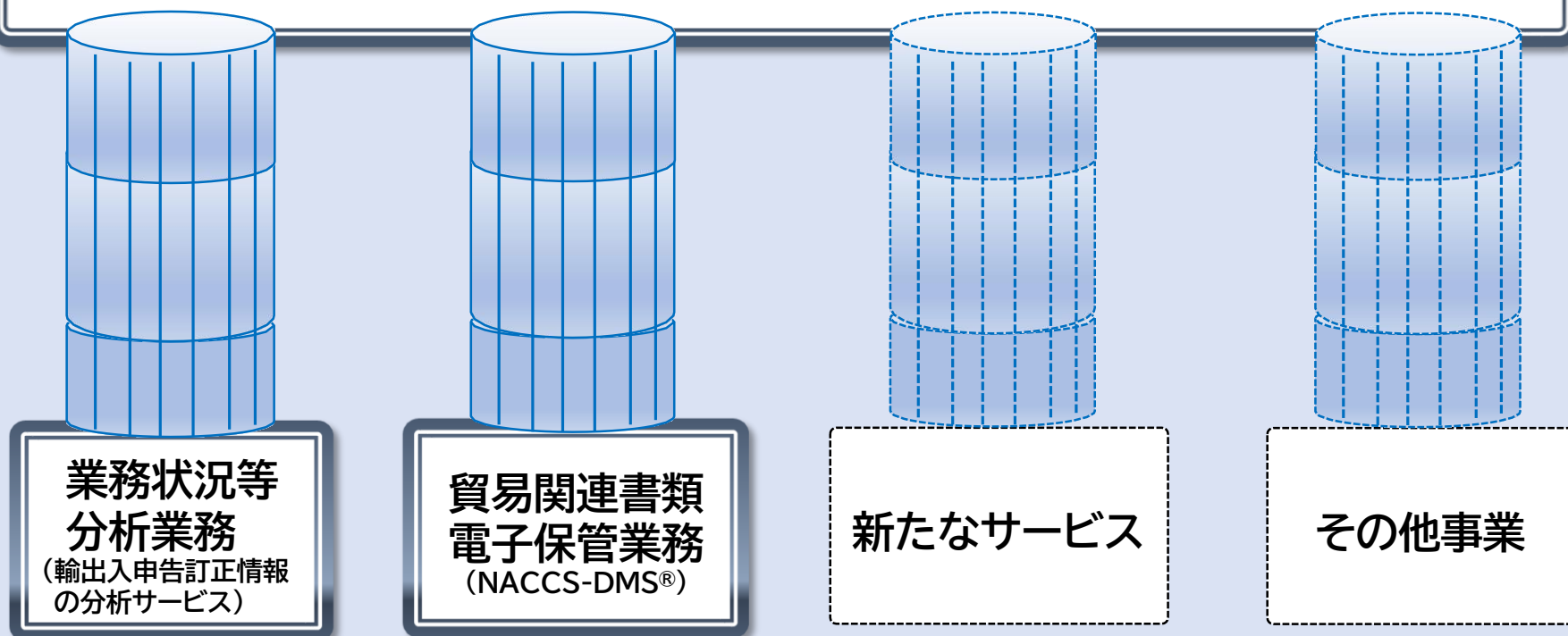
检索



第7次NACCS 基本仕様の情報

新規事業戦略の基本方針

- ・国際物流と国際貿易の発展、ひいては我が国の国際競争力強化に寄与するため、NACCSと親和性の高い新規事業に取り組みます。
- ・新規事業の積極的展開により、お客様の利便性向上を図ります。



各種「デジタルプラットフォーム」との連携

国内外では各種「デジタルプラットフォーム」の実用化に向けた動きが活発化しており、その普及により、近い将来、国際物流・国際貿易の省力化やコスト削減が実現することが想定されます。弊社としても、他の「デジタルプラットフォーム」についての情報収集等を進めたうえ、お客様の利便に資する連携に向けた検討を進めていきます。

